



## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2016v1.0 | 使用評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人北祐会 北祐会神経内科病院 病棟建替計画	階数	地下1F、地上5F
建設地	西区二十四軒2条2丁目10,11,15,16番	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準住居地域、準工業地域、準防火地域	平均居住人員	135 人
建物用途	病院	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
竣工年	2022年3月 予定	評価の段階	実施設計段階評価
敷地面積	3,322 m <sup>2</sup>	評価の実施日	2020年4月1日
建築面積	1,551 m <sup>2</sup>	作成者	松下
延床面積	6,492 m <sup>2</sup>	確認日	2020年4月15日
		確認者	梅原



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★ B+

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 76% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外のオンサイト手法 76%

④上記+オフサイト手法 76%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 一次エネルギー消費量の評価

建物全体の[BEI][BEIm]= 0.71

### 2-5 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

Q1 室内環境 (スコア= 3.0)

Q2 サービス性能 (スコア= 3.1)

Q3 室外環境 (敷地内) (スコア= 2.4)

#### LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (スコア= 4.3)

LR2 資源・マテリアル (スコア= 2.9)

LR3 敷地外環境 (スコア= 3.2)

3 設計上の配慮事項	
総合	A 省エネルギー ・外断熱工法を採用し、熱損失の低減を図る計画としています。 ・LED照明器具、トッランナー変圧器の採用、自動力率調整器の導入を行い省エネルギーに配慮した計画としています。
B 省資源等 ・節水型器具の採用	C 緑化 ・緑保全創出地域制度の許可基準を遵守するとともに、前面道路側は四季折々の花が咲き、歩行者の目を癒す樹種を選択することとします。
	D 雪処理 ・病院へのアプローチ部分については、ロードヒーティングを採用するとともに、ヒーティングの無い駐車場には雪の堆積場所が確保できるよう、ゆとりのある平面計画とします。

4 ほかの認証・評価制度の利用			
(財)建築環境・省エネルギー機構のCASBEE認証	なし	BELS認証	なし
上記以外の認証・評価制度の利用		LEED認証	なし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

**CASBEE札幌2016(ver.1.4)**  
**医療法人北祐会 北祐会神経内科病院 病棟建替計画**

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2016v1.0  
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.4)  
 欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								
<b>Q1 室内環境</b>								
<b>1 音環境</b>								
1.1 室内騒音レベル								
1.2 遮音								
1	開口部遮音性能			5.0	0.40	5.0	0.30	
2	界壁遮音性能		T-2サッシの採用 病室周囲:TLD50	2.0	0.60	3.0	0.30	
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	3.0	0.20	
4	界床遮音性能(重量衝撃源)				-	3.0	0.20	
1.3 吸音								
<b>2 温熱環境</b>								
2.1 室温制御								
1	室温			3.0	0.60	3.0	0.57	
2	外皮性能	省エネ		3.0	0.40	3.0	0.43	
3	ゾーン別制御性			-	-		-	
2.2 湿度制御								
2.3 空調方式								
<b>3 光・視環境</b>								
3.1 昼光利用								
1	昼光率			3.0	0.60	3.0	0.60	
2	方位別開口				-		-	
3	昼光利用設備	省エネ		3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策								
1	昼光制御	省エネ		3.0	1.00	3.0	1.00	
2	映り込み対策				-		-	
3.3 照度								
3.4 照明制御								
<b>4 空気質環境</b>								
4.1 発生源対策								
1	化学汚染物質			3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気								
1	換気量			3.0	0.50	3.0	0.33	
2	自然換気性能				-	3.0	0.33	
3	取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理								
1	CO <sub>2</sub> の監視				-		-	
2	喫煙の制御		敷地内全面禁煙	5.0	1.00		-	

Q2 サービス性能			3.0	0.30	-	-	3.1
<b>1 機能性</b>			<b>3.0</b>	0.40	<b>4.4</b>	1.00	<b>3.2</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>			<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60	
1	広さ・収納性	個室10㎡以上、多床室8㎡/床以上		-	5.0	1.00	
2	高度情報通信設備対応			-		-	
3	バリアフリー計画		3.0	1.00		-	
<b>1.2 心理性・快適性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.5</b>	0.40	
1	広さ感・景観 (天井高)	病室天井高2.5m		-	4.0	0.50	
2	リフレッシュスペース			-		-	
3	内装計画		3.0	1.00	3.0	0.50	
<b>1.3 維持管理</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	<b>3.0</b>
<b>2.1 耐震・免震・制震・制振</b>			<b>3.0</b>	0.50		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-	
2	免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-	
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>			<b>3.0</b>	0.30		-	
1	躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	3.0	0.20		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	3.0	0.10		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	3.0	0.10		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	3.0	0.20		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	3.0	0.20		-	
<b>2.4 信頼性</b>			<b>3.2</b>	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備	節水型器具の採用。災害時用として受水槽に蛇口。	4.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20		-	

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
1 階高のゆとり			3.0	0.60	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	<b>2.4</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>	<b>緑化</b>		<b>2.0</b>	0.30		-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>	<b>緑化</b>		<b>3.0</b>	0.40		-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.0</b>	0.30		-	<b>2.0</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	<b>雪処理</b>		<b>2.0</b>	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	<b>省資源 緑化</b>		<b>2.0</b>	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-		-	<b>3.5</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>4.3</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>	<b>省エネ</b>	外断熱工法の採用、アルミ樹脂複合サッシ・Low-Eペアガラスの採用	<b>5.0</b>	0.20		-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>	<b>省エネ</b>		<b>3.0</b>	0.10		-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>	<b>省エネ</b>	[BEI][BEIm] = 0.71 -	<b>4.8</b>	0.50		-	<b>4.8</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00		-	
4.1 モニタリング	<b>省エネ</b>		-	-		-	
4.2 運用管理体制	<b>省エネ</b>		3.0	1.00		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1 モニタリング	<b>省エネ</b>			-		-	
4.2 運用管理体制	<b>省エネ</b>			-		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
1.1 節水			<b>3.0</b>	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.8</b>	0.60		-	<b>2.8</b>
2.1 材料使用量の削減	<b>省資源</b>		2.0	0.11		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	<b>省資源</b>		3.0	0.22		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	<b>省資源</b>		3.0	0.22		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	<b>省資源</b>	ビニル床材	3.0	0.22		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	<b>省資源</b>		-	-		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	<b>省資源</b>		3.0	0.22		-	

<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>	
3.1	有害物質を含まない材料の使用		<b>3.0</b>	0.30	-	-		
3.2	フロン・ハロンの回避		<b>3.0</b>	0.70	-	-		
1	消火剤	省資源	-	-	-	-		
2	発泡剤(断熱材等)	省資源	3.0	0.50	-	-		
3	冷媒	省資源	3.0	0.50	-	-		
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.2</b>	
1	地球温暖化への配慮	省資源	LCCO2排出量が標準値を下回っている。		<b>3.9</b>	0.33	-	<b>3.9</b>
2	地域環境への配慮		<b>2.8</b>	0.33	-	-	<b>2.8</b>	
2.1	大気汚染防止	省資源	<b>3.0</b>	0.25	-	-		
2.2	温熱環境悪化の改善	省資源 熱化 蓄熱処理	<b>2.0</b>	0.50	-	-		
2.3	地域インフラへの負荷抑制		<b>4.2</b>	0.25	-	-		
1	雨水排水負荷低減	省資源	構内に排水樹・排水トレンチ管を敷設し、雨水流出抑制対策を講じている。		4.0	0.25	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-		
3	交通負荷抑制		現状以上の駐車台数を確保する。		5.0	0.25	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	建物内に分別した廃棄物保管庫を設置する。 耐雪スペースの確保。		5.0	0.25	-	
3	周辺環境への配慮		<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>	
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		<b>3.0</b>	0.40	-	-		
1	騒音		3.0	1.00	-	-		
2	振動		-	-	-	-		
3	悪臭		-	-	-	-		
3.2	風害、砂塵、日照阻害の抑制		<b>3.0</b>	0.40	-	-		
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-		
2	砂塵の抑制			-	-	-		
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-		
3.3	光害の抑制		<b>3.0</b>	0.20	-	-		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-		
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-		



■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.4)

1 建物概要		BEE	1.3	BEEランク	B+
建物名称	医療法人北祐会 北祐会神経内科病院 病棟建替計画				
建物用途	病院.				
延床面積	6,491.8 m <sup>2</sup>				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	<b>最重点項目</b> <b>省エネルギー</b>	★★★★★	<p>省エネルギー性能</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>雪処理</p>
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★★☆☆☆	
	雪処理	★★★★☆	

★1=スコア(最低点~最高点)20%以下  
 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下  
 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下  
 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下  
 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上

3. 重点項目のCASBEEスコア	
<b>A 省エネルギー</b> ( 最高点 23.5 最低点 5.8 )	<b>合計 19.3点 /23.5点</b>
Q1 温熱環境	スコア <b>0.8</b> /1.4 LR1 建物外皮の熱負荷抑制
Q1 光・視環境	スコア <b>1.3</b> /2.1 LR1 自然エネルギー利用
	LR1 設備システムの高効率化
	LR1 効率的運用
<b>B 省資源等</b> ( 最高点 23.7 最低点 7.7 )	<b>合計 14.2点 /23.7点</b>
Q2 耐用性・信頼性	スコア <b>0.6</b> /1.1 LR2 非再生性資源の使用量削減
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア <b>0.9</b> /2.3 LR2 汚染物質含有材料の使用回避
	LR3 地球温暖化への配慮
	LR3 地域環境への配慮
<b>C 緑化</b> ( 最高点 15.3 最低点 3.1 )	<b>合計 7.3点 /15.3点</b>
Q3 生物環境の保全と創出	スコア <b>1.8</b> /4.5 LR3 地域環境への配慮
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア <b>3.6</b> /6.0
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア <b>0.9</b> /2.3
<b>D 雪処理</b> ( 最高点 3.0 最低点 0 )	<b>合計 2.0点 /3.0点</b>
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア <b>0.0</b> /1.0 LR3 地域環境への配慮
	スコア <b>2.0</b> /2.0

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■重点項目の**最高**点は、各評価項目で**レベル5**で評価された場合の点数  
 ■重点項目の**最低**点は、各評価項目で**レベル1**で評価された場合の点数